## 本機に以下の機能が追加されました。
## 取扱説明書本文中の以下の内容を変更して、お読み頂きますようお願い申し上げます。

ページ15
(ページ77)

**管理者用設定ー“時刻設定”画面に「外部時刻設定」機能追加**

複数の機器を接続したとき、すべての機器が同じ時刻になるように毎日時刻合わせを行なうことができます。設定時刻になると、接続しているすべての機器が秒単位で同じ時刻に調整されます。

**注意：** ●外部信号の入力時刻と設定時刻との間に30分以上の開きがある場合は、時刻調整はおこなわれません。複数機器の1台目と2台目以降は同じ時刻に設定してください。
●本機能を使用しない場合は、誤動作防止のため“切”のままにしておいてください。

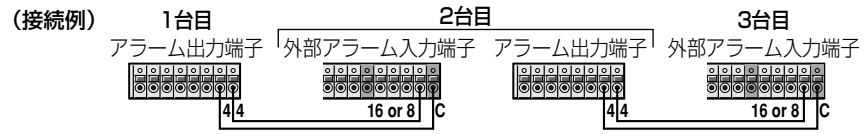
**外部時刻設定**

**選択→ 切：**外部時刻設定を使用しない
**入力：**入力を選択した場合は“アラーム入力番号”と“同期時刻”を設定する
**出力：**出力を選択した場合は“アラーム出力番号”と“同期時刻”を設定する
**入出力：**入出力を選択した場合は“アラーム入出力番号”(左は入力、右は出力)と“同期時刻”を設定する

**DVRを3台接続した場合の例：**

はじめのDVRは“出力”を選び、アラーム出力端子番号と同期時刻を設定する。真ん中のDVRは“入出力”を選び、アラーム入力端子／出力端子番号と同期時刻を設定する。最後のDVRは“入力”を選び、アラーム入力端子番号と同期時刻を設定する。

**接続方法：**はじめのDVRで設定したアラーム出力端子(どちらか一方はコモン線)から、真ん中のDVRで設定したアラーム入力端子(コモン線は“C”)に接続し、真ん中で設定したアラーム出力端子(どちらか一方はコモン線)から、最後のDVRで設定したアラーム入力端子(コモン線は“C”)に接続する。




ページ38
(ページ73)

**画面設定ー“アラーム設定”画面の“アラーム出力”の設定に「入＋画面表示」機能追加**

本機能を選択すると、“アラーム入力”または“モーション検知”があった場合は、設定された“アラーム持続時間”の間、1画面で表示することができます。

**選択→** 入／切／**入＋画面表示**（メール設定のアラーム通知は“切”で使用ください。）

ページ38
(ページ73)

**画面設定ー“アラーム設定”画面の“VIDEO LOSS検知”の設定に「ALL」機能追加**

本機能を選択すると、どのチャンネルがVIDEO LOSSになってもアラーム信号を出力します。

**選択→** VDH-M4161は1～16、VDH-M4081は1～8、**ALL(設定できるのは左端位置のみ)**

ページ38
(ページ73)

**画面設定ー“アラーム設定”画面の“HDDエラー検知”は“アラーム出力選択”に変更**

「アラーム出力選択」は、アラームの出力条件を設定します。

**選択→ 切：**録画が停止したときやハードディスクエラーの場合にアラームを出力しない
**HDDエラー：**ハードディスクエラーのときにアラームを出力する
**録画停止検知：**録画が停止したときにアラームを出力する
**ALL：**録画が停止したときやハードディスクエラーの場合にアラームを出力する

ページ53
(ページ80)

**ハードディスク設定ー“ハードディスク設定”画面に「自動消去(保持日数)」機能追加**

録画データの保存期間を設定できます。設定期間を越えたデータは自動的に消去されます。

**自動消去**

**選択→ 切：**自動設定機能を設定しない
**入：**自動設定機能を設定する

**保持日数**

**選択→** 2/3/4・・・・・60日